

武雄市議会だより

栄八通信

第 41 号

1 ③ 7 10 月末発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

平成22年度予算

(当初) 183億円

昨年より約1% (2億円)

少ないが、ほぼ同額!

しかし、大きく違う中身

リーマンショックによる、世界不況の影響や、民主党政権に変わったの初予算で、どうなるか心配だった武雄市のH22年度予算であったが、昨年度とほぼ同額で、まずは、安心した。

また、4月に、市長選挙がある為に、市長の判断する政策的予算は抜いた骨格予算になっている。だから見方によっては、市長選後、肉付け予算を追加すれば、実質的には、H21年度より、10億円程度は増加したとも言える。

また、意地悪く言えば、市長が誰になっても、予算の90%程度は固まっています。市長の裁量は10%ぐらいで、その10%も、半分は、区画整理や学校改築など、継続性のあるもので、残り5%程度が市長の裁量と見る。

そうなれば、市長と言うものは、その5%についてユニークな独自

耐震調査で、低い結果の、職員室の一階駐車場の柱を壁式に変えて、強化し、一部塗り替え等も計画されている。教室棟や体育館の建替えについては、次の課題のようである。

●武雄中学校校舎改築

4階建てのメインの教室棟で、外見は白くて綺麗にも見えるが、これも耐震力がなく建替え。ただ、同じ場所に再建する為に、仮の教室が必要になる為、校門入って左のテニスコートと、黄色い技術棟(私の時は教室)を解体して、プレハブ校舎をリースする。

今回の予算は、解体とリース代。H22年度には、6月以降に、教室棟の解体と新校舎の建設に入る模様。今後、部活やプレハブでの学習環境への配慮が必要です。

●子供手当が反映

H22年度予算が骨格なのに、昨年と同額なのは、何かが増えた訳で、それは、今話題の子ども手当が約9億円計上されている為。0才から中学生まで、月額13,000円が、支給される。市内の対象者は、6,883人を見込む。支払い額は、数ヶ月ごとに振り込まれる模様。

だから、これを貯金せず市内で使わないと増加した予算の意味がない。

●主な新規事業

●武雄小学校管理棟改造

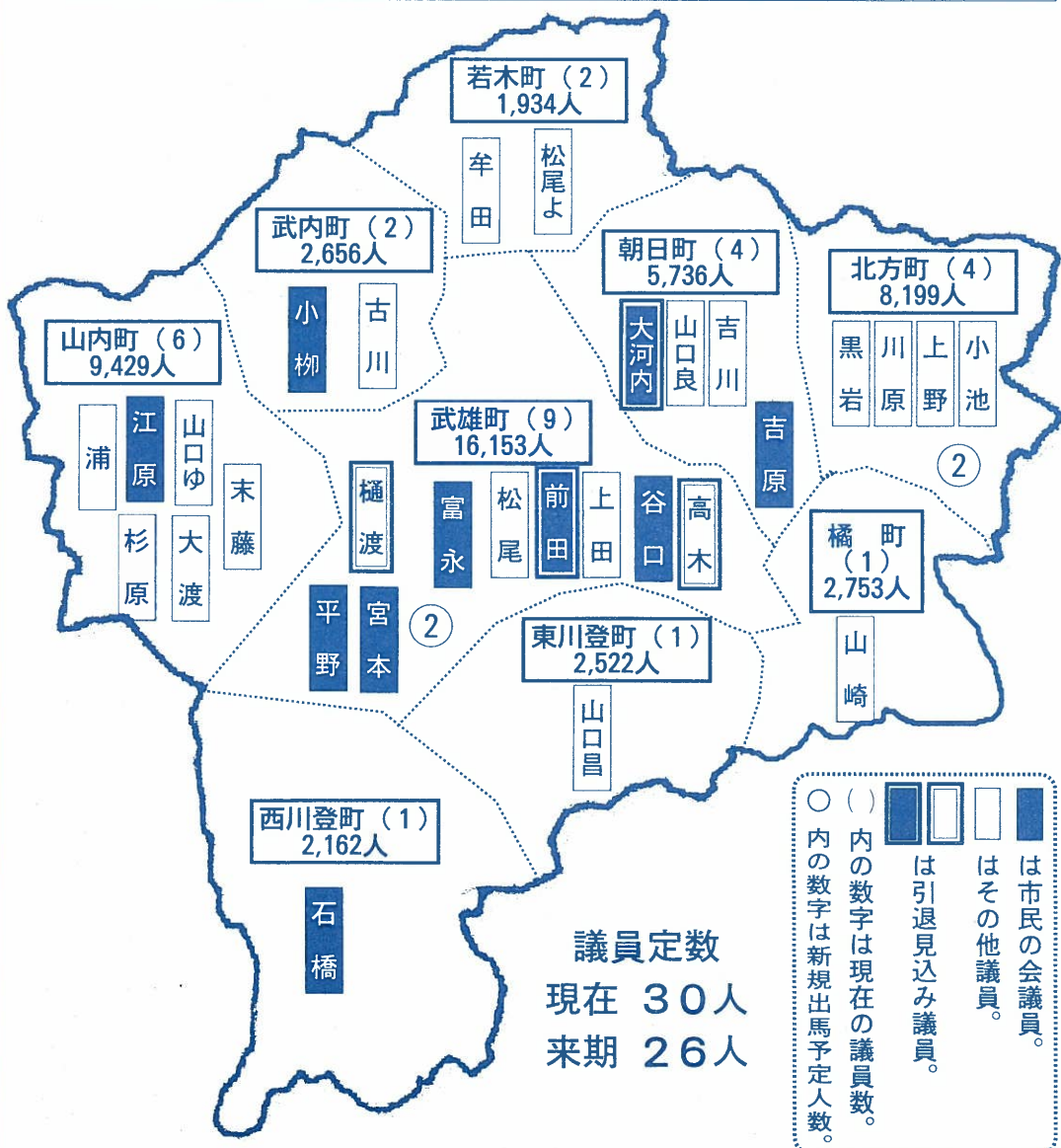
武雄町、下西山にある、ひまわり保育園が、H22年度、新しく建替える計画で、臨地を購入して仮園舎を建てて対応するとの話。

●ひまわり保育園改築補助

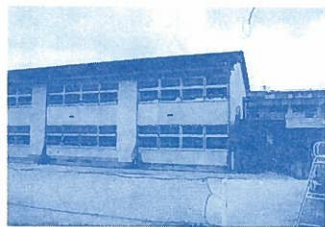
武雄町、下西山にある、ひまわり保育園が、H22年度、新しく建替える計画で、臨地を購入して仮園舎を建てて対応するとの話。

耐震調査で、低い結果の、職員室の一階駐車場の柱を壁式に変えて、強化し、一部塗り替え等も計画されている。教室棟や体育館の建替えについては、次の課題のようである。

< 地区別市議分布図 >



武雄小職員室下補強



武雄中解体してプレハブへ

議員の状況と明るい武雄市をつくる

市民の会メンバー

(現市議の会派や地区の状況)

政策研究会	政和クラブ
高木 佐一郎	◎ 吉原 武藤
上野 淑子	◎ 小柳 義和
山口 昌宏	◎ 石橋 敏伸
末藤 正幸	新政和クラブ
山崎 鉄好	◎ 谷口 攝久
山口 裕子	松尾 初秋
新政策研究会	武友クラブ
小池 一哉	◎ 富永 起雄
樋渡 博徳	◎ 前田 法弘
牟田 勝浩	日本共産党
大渡 幸雄	◎ 江原 一雄
上田 雄一	◎ 平野 邦夫
政策研究クラブ	社会民主党
川原 千秋	◎ 大河内 智
古川 盛義	フォーラム武雄
山口 良広	◎ 宮本 栄八
杉原 豊喜	公明党
吉川 里己	松尾 陽輔
浦 泰孝	◎市民の会員 (敬称略)
新民主クラブ	
黒岩 幸生	

谷口優氏の潔白が判明！ 百条委員会の証人尋問

12月議会、黒岩・山口昌宏議員が、元市職員の匿名の投書を取り上げた。今春、市長候補予定を表明してある谷口優氏が、公人に当たるとし、一点のくもりもあつてはならないとして、百条特別委員会が、またも賛成多数で決定した所まで前回の栄八通信で伝えた。

また、私は百条特別委員会は、市長や市職員の不正等を調査をすることしかできないのに、民間人を対象の百条委員会を設置するのは違法ではないかと言った。

まず、目的や手続きが変であり、昭和62年度の話で、20年以上も前の話が、今急に出て来たことにも私だけでなく、市民の多くの方が、何か悪意をもつての、名前をかくしたニセ投書ではないかと疑う。

投書の内容は、谷口優氏が、「瀬ノ尾ダムの横の市道改良の時の用地交渉にごねて、広い土地を不正に取得した」との内容だった。

ただ、私は、まともな市職員OBであれば、20年も前の事を公務員の守秘義務を破って匿名投書をするのか、これ自体、いいがかり捏造ではと思う。

結局、百条の委員会、判った事は、土地は、谷口氏の義父の所有で、交渉の約5ヶ月の間に亡くなられ、義母に変わられ契約されていて、何らごねられていない。

また、広い土地というのも、代替地が広いので、その分は、代金を払ってあるので問題ない。

具体的には、市から出された、当時の山林の公共工事買収単価、平米当り300円（現在330円）で、ちゃんと等価交換してあり、何の問題もないことが判明した。

瀬ノ尾の市道改良と同時に建設された。第3浄水場（工業用水）にも利用され、市道の改良分が、

住宅街の造成後の価格で、急傾斜地の山林は逆に平地にする為には、平米3万3千円以上の工事費がかかる

西部広域ゴミ処理方式 決定延期に

前回の40号に、100億円で計画されている、広域ゴミ処理の機種選定の最終処分方法が、どうも、セメント工場に逆に有償（金を払う）で渡す方法を1月中旬にも選定されそうで心配との記述をした。

私は、県の方針や、多くの所が採用している、高温処理して無害化しガラス状の石にするスラグ化にすべきとの主張を書いた。

セメント工場に渡せば、小さな埋立地しかいらぬ事もわからないわけではないが、これまで、ペットボトルや紙でさえも、相場の変動で数年前と反対の状況になる事もあり、リスクが大きい。

案の定、先月、新聞に大手セメント会社の大幅な工場減産が報じてあり、市の環境課に処理方式の決定が終わったのかと尋ねると、私の通信で取り上げたせいかわからないが、各市長選後六月に決定を延期したとの事で安心した。

議事録の抹消 問題とは？

「出すぞ、やかましかとは」

江原議員も百条特別委員会の委員で、事前に、もう一度、黒岩氏の百条の緊急動議の状況を知る為に議事録のテープ起こしで作った、原本を議会事務局からもらい利用していたと言った。

通常、12月議会の議事録は、次の3月議会前に製本されて配布される。それを、江原氏が見たら原本にあった文章が、抹消されていたと言った。その中には、「出すぞ、やかましかとは」など暴言や、私語などであるとのことだが、武雄市議会の議事録は、何十年間、方言で

かり単なる難癖としか思えない。ワンマン市政も良くないが、人を落とし入れる様な政治も。

選挙投票時間2時間 縮短（市長の意向？）

これまで数年に亘り、労働形態も多様になり、選挙の投票率も下がって来て、その対策として、全国的に、投票時間の延長がされて来た。しかし、武雄市においては、以前に吉川議員が、2時間短縮して100万円の費用軽減を一般質問されていた。ただ、これまでは180度の方針転換で十分論議が必要と思っていた。

しかし、急に選挙管理委員会が、投票時間の2時間短縮を決定した。それに対し、新聞の識者評論では、疑義が表明された記事もあった。

ところで、選挙での決定した会議の議事録を見たところ、何と「2時間の繰上げは、（樋渡）市長の意向である」主旨の記述があり、中立的であるべき選挙の決定が、市長の政治的意向に左右されている事が解り、そこまでやるのかの思い。

の質問やヤジについても、（違うやっか）と叫ぶものもありなど、一言一句残されていて、訂正や、発言の取り消しは、議長に申し出て、議事録から削除が認められるなど、徹底しているから信頼があり、与党・野党問わず、すべての人が信じている。

しかし、議事のテープ起こし、速記会社が提出した原本をだまて修正して製本される。そんな事があると思像すらしなかったことで、私自身も驚いている。

そこで、今議会、冒頭で「武雄市議会議事録の透明性と公明性を求める」議案を上程されたが、樋渡市長の与党系議員を中心に反対多数で否決された。

私は改めて、武雄市を対立の政治から変えなければいけないと思った。

市民病院の医療機器約2億円分を 何で、ただで貸すのか？

市民病院も、1月末で、すでに売却されたのだが、あと幾つか市民にお伝えしなければいけないことがあります。

医療機器無償貸付

売却後市民病院のCTなどの高額医療器材は、インターネットなどで、高く売るとの話だったが、結局、約11億円を投じて整備した、機器備品は、支払（減価償却）を進め簿価は、2億9千万円ではあるが、壊れているわけでもなく、利用できるものを市が無償で貸す契約をしたことに對し、私は納得がいかない。

職員2人の派遣

昨年12月の時点で、市職員の池友会系新病院の事務局長に派遣されるうわさは聞いたが、まさか現実民間病院の事務長になる事はないと思っていた。

たしかに一昨年、池友会への移譲契約書に、市職員の派遣の項目

制作後記と今後のプラン

私は、これまで選挙前の栄八通信は発行してなかった。

それは、選挙前3ヶ月くらいになると、新聞オリコミを断られるので配れなかったからです。

ただ、2年前から、佐賀新聞については通常の時も折り込めなくなり、二重に配ったり、また、全く配布できない地区も出て来ました。

そこで、自分の手配りを中心にして来ましたが、限界もありました。

やっと最近、配布を手伝ってもらえる人が見つかり以前より広範囲に配布できるようになり、今回発行しました。

一方選挙前には、急に、色々なチラシが出されますが、やはり、どうしても発行者に都合のいい、嘘とまでは言わなくても、誇大な手柄話や我田引水的なものも多く、市民の方も

もあり、私の質問に、ボーラーマンや残務処理・事務引継ぎの為との説明だったので、長くて2ヶ月程度との認識だった。

しかし、結果は事務長と次長の2人を市費を使い年間で派遣したとのことで、私は目的外の違法な便宜供与ではないのかと思う。

土地建物の格安売却
土地は、2億2千万円（坪単価2万3千円）で売却。川良地区は、坪7.12万円はすると思うが、土地鑑定は、病院棟があり使い方が限られるとして、大幅減額査定。

一方、建物は、売却前に鑑定をして1億6875万円。さらに、解体費、8400万円を引いた、8475万円で売却。しかし、私から見れば、12日に駆け込みでICUに8686万円を投じ無償で貸すなら、病院の建物代はないのと同じではとの、見方をする。

どれが本当の話なのか、思われるのではと思います。しかし、現実問題、市民の皆様の「眼力」や「選択」が武雄市の将来や子ども達の未来を決めるわけで、一番大切なことだと思います。

私はこれまでの4年間の大半は、市民病院問題の地域医療連携や主体的でない行政運営について、通信で市民の方にお知らせしたり、またリコール運動にも取り組んできました。それは、政治や行政の運営の基本的方針にかかわること、説明を求めているから行政を進める事は、市民の皆様から税を義務として集め、それを使う場合の住民と政治行政の信頼の基と思う。

だからこそ、私のリーダーシップ論は、先走ることなく勇気をもって提案し、理解を求め、市民と共に創る事ではないかと思えます。また今期の通信は最後ですが、今後も発行できればと思います。